

我喜屋公民館（通称）の広場拡張整備について / 西銘真助

■ 1 番 西銘真助議員 1 番 西銘です。第 1 件目はですね、我喜屋公民館、通称で呼んでおります。この広場の拡張整備について伺いたいと思います。我喜屋区の公民館広場は、整備してもらって区民でうまく活用しておりますけれども、綱引きの場合は狭いということで、道路で実施していると。それから区民運動会など、より多く集まる場合も狭いということで、区民からは、なんとか拡張整備をしていただいて、広く、ゆっくり使いたいという要望がありますので、その点、伺いたいと思います。

■議長（金城信光） 伊礼直樹農林水産課長

■伊礼直樹農林水産課長 西銘議員の質疑にお答えします。現在の我喜屋公民館の広場は、集落地域整備事業我喜屋地区、平成 15 年から平成 19 年の一環で、農村公園として整備したと認識しております。内容にもよるかと思いますが、農地の買収だけでしたら補助事業には馴染まず、単費や起債事業等を検討する必要があるかと思えます。また、農村公園的な位置づけで公園整備をするものであれば、補助メニューを探して、沖縄県と調整を図る必要があるかと思われます。あと、区としての、どのような位置づけで整備計画をしているのかなど、詳細を詳しく教えていただければと思っています。以上です。

■議長（金城信光） 1 番議員。

■ 1 番 西銘真助議員 区の意見を聞いてみますと、公民館の南側の道路、そこで綱引きが行われるんですけど、そのそばの土地ではなくて、北側の、この図で示してあります 1830 番地の 2、これ面積で 600 平方メートルほど余っております。それと隣接する 1831 番地、今の村営住宅のある手前までですね、そこのほうに整備していただいて、課長が申し上げたとおり、用地買収だけではなくて、それに芝生等を植えて整備をしていただくと。なるべくでしたら、村の負担を考えますと、整備事業、農村公園みたいな整備事業でできれば経費も少ないと思いますが、もしどうしてもそういう芽出しができれば、企業版のふるさと納税等々の活用も視野に入れてお願いをしたいんですけども、そこらへん、企画財政課長と農林水産課長、伺いたいと思います。

■議長（金城信光） 農林水産課長。

■伊礼直樹農林水産課長 西銘議員の質疑にお答えします。農村公園整備等の事業はあるかと思うんですが、ただ、事業の芽出しにもちょっと時間がかかるため、どのような方法が集落にとっても負担がなく、また今後のイベントというか、行事にも続けていけるか、もうちょっと確認しながら進められればと思っています。以上です。

■議長（金城信光） 西銘議員。

■ 1 番 西銘真助委員 ただ今ですね、農林水産課長の伊礼課長からお答えになったんですけど、やはり事業が導入できるのであれば、その事業で整備をしていただきたいと。予算も決まっていますことですから、今年度はもちろん無理だと思います。次年度に向けて、そういう事業の選択、それから折衝ということになるかと思いますが、なるべくこの 2 つを買っていただいて、買収していただいて整備をします。そうするとより広くなって、公園としての機能が活かされると思っていますので、

よろしくお願いします。また、この事業に関しましてはですね、農村整備のほかにも整備事業がありましたら、企画財政課長のほうにもあるかどうか伺いたいと思います。

■議長（金城信光） 企画財政課長。

■名嘉丈祝企画財政課長 西銘議員のご質問にお答えいたします。まずですね、先ほど農林水産課長が申し上げたように、農林水産省、あるいはその同列のいわゆる補助メニューといわれるものが、平たく言うと既存メニューというかたちになりますけれど、基本的にはそういった事業の導入を模索しながら進めていくという考えになろうかと思えます。

我々が通常事業計画を策定する際には、まず通常メニューがあるかどうか、併せていわゆる国庫補助事業ではないんですけれども、いわゆる付随する財団とか、国の出先だったりとかってところが公募している事業、そういったものがないかどうか、そういった事業も無い場合においては、今、ご承知かと思うんですけれども、村はいわゆる北部振興事業であったり、あるいは離島活性化推進事業、あと特定推進事業とですね、離島特有の特殊条件に起因するものについて、特別に措置されている財源というものもございますので、そういったところを検討しながら、あとその肝要なのは、それが離島の特殊性、特殊な事情を緩和して住み続けられる持続可能な地域の活性化、あるいは整備に資するかっていうところが一つと、あとモデル的に整備して、他の困り感の同様な各離島に、いわゆる横展開、波及していくかどうかというのが採択のポイントになろうかと思えます。そういったことも含めまして、まずは所管課でいわゆる補助メニューがあるかどうか、なければならないというところで、いわゆるデマケーションですね、住み分けをしっかりと整理して、事業化の検討を進めていくというような段取りになろうかと思えます。

いずれにしても、地域の皆さんが困っていること、あるいは第5次総合計画の中ではですね、そういった安心安全で暮らしやすい島であるとか、誰一人取り残さないというのがテーマとして謳われていますので、その実現に向けて、各課連携して、取り組みができればと考えています。以上でございます。

■議長（金城信光） 西銘議員。

■1番 西銘真助議員 ありがとうございます。まず、農林水産のほうで検討していただいて、通常補助メニューがなければいろいろ考慮していくということで、整備をお願いしたいと思います。